

# 令和元年第7回飯南町議会定例会

## 町長行政報告及び提案理由説明要旨

令和元年 12 月 3 日

飯 南 町

本日、令和元年第7回飯南町議会定例会を招集いたしましたして、開会の運びとなりましたことを、はじめにあたりまして厚くお礼申し上げます。

提案いたしました諸議案の説明に先立ちまして、諸般の事項についてご報告申し上げます。

### 【はじめに】

はじめに、長年本町の地域医療にご貢献いただきました和田医院、和田先生が今月末をもって閉院されることとなりました。

和田先生には、旧赤来町時代より、約半世紀にわたり地域の医療、福祉の向上に多大なお力をいただきました。

長きにわたってのご貢献に心より敬意を表し、深く感謝すると共に、これまでのご労苦に対し、心よりご慰労申し上げます。

私も先生より直接お話を伺い、住民の皆様にも、急遽、自治会回覧にてお知らせしたところでございます。

今後、飯南病院や来島診療所で受診を希望される皆様には、より便利に医療を受けられるよう交通体系の整備

をはじめ、目的地までの乗り方や時間帯を表記した、利用者ご自身専用の「マイ時刻表」をご希望の方に無料で作成したいと考えているところでございます。

また、住民の皆さんの不安を軽減するために、保健福祉課が窓口となり、赤名公民館や集落支援員などの関係機関と協力して、和田医院の待合室や地域サロン等において相談支援に取り組んでおります。

さらに、飯南病院におきましても、和田先生と角田院長による協議も行われており、円滑な引き継ぎができるよう努めてまいります。

このように、当面の対応を講じながら住民の皆様には不安が生じないように努めてまいらなければならないと思っております。

それでは、総合振興計画の分野別の基本方針にもとづき、諸般の事項についてご報告申し上げます。

## 1. 自治・協働

はじめに、自治・協働についてでございます。

### 【令和元年秋の叙勲】

新たな時代、令和元年秋の叙勲につきましては、このたび、受章者が発表され、本町から上来島の松田栄次さんが、44年間にわたる消防団活動と消防団長としての功績により、「瑞宝双光ずいほうそうこう章しょう」の栄に浴されました。

### 【功労者表彰】

次に様々な分野の功労表彰についてでございます。

3期6年の長きにわたり、鳥根県町村議会 議長会会長として、自治の発展・運営に貢献された、八神的那須穂士輝さんが、全国町村議会議長会 特別功労者表彰を受章されました。

同じく、本町議会議員として12年間、地方自治の発展に貢献、また、議会副議長を4年間務め、議会の円滑な運営に尽力されたとして、八神の永井章さんが鳥根県自治功労彰を受章されました。

また、先月3日、文化の日に飯南町功労者表彰式を開催し、

来島三日市で活動される<sup>みせんかい</sup>三仙会には「日本一の大しめ縄の里飯南町」などの看板設置や除雪ボランティアなど、福祉活動、環境美化に長年貢献いただいております、地域貢献功労賞を贈りました。

同じく、志々公民館長、志々自治区長を長年にわたり歴任された、角井の大上教貳さんに、地域を担う人づくりや、幅広い見識と行政経験を活かして、地域活性化にも大きく貢献された功績により社会教育功労賞を贈りました。

また、谷自治振興会が、公益財団法人あしたの日本を創る協会から、住民主体による高齢者宅の除雪や交通弱者のための地域交通の運営に取り組まれている活動などが評価され、「あしたのまち・くらしづくり活動賞・地域奨励賞」を受賞されました。

本町では、春の叙勲でも2名の方が受章されるなど、令和元年という記念すべき年に、このように様々な分野で多くの皆様が活躍、表彰されることは、町の元気と活力につながるものであると感じており、私といたしましても、まさしく「笑顔あふれるまち飯南町」にふさわしい話題であると、大変喜んでいるところでございます。

改めまして、それぞれの皆様のご功績に対し心より敬意を表し、お祝い申し上げます。

## 【職員給与等改定】

次に、職員給与等の改定についてでございます。

職員の給与改定につきましては、このたび人事院勧告が公表され、本町におきましては、島根県人事委員会勧告及び周辺市町の給与改定状況を勘案し、本年4月にさかのぼって給与月額等を改定したいと考えているところでございます。

内容につきましては、島根県に準じた給料表の改正と期末・勤勉手当の改正を行うものであり、今定例会の会期中に条例の改正を提案したいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

## 2. 教育・文化・子育て

次に教育・文化・子育てについてでございます。

### 【学校教育】

はじめに、学校教育についてでございます。

町内各学校においては、学習発表会や文化祭などの行事が開催され、児童生徒の日頃の学習の成果について、歌やダ

ンスを交えての発表がありました。

地域の皆様にも多数ご来場いただき、各校の特色を活かした活動や児童生徒が主体的に取り組んでいる様子をご覧いただいたところでございます。

また、中学校の部活動においても、生徒たちの持つ力と練習の成果が十分に発揮され、雲南市・飯南町新人体育大会において、頓原中学校野球部が大東中学校に惜敗はしたものの、準優勝を果たし、初めて出雲地区大会への出場権を獲得いたしました。

さらにバレー部においても、赤来中学校バレー部が大健闘し、見事優勝に輝き、出雲地区大会へと進んだところでございます。

今後も本町で育つ児童生徒が、自身の持つ力を精一杯伸ばしていけるよう、学校における教育指導の充実を図り、ふるさと飯南町を担う人材としてしっかりと育成してまいります。

#### 【町ぐるみの教育の推進】

次に、町ぐるみの教育の推進についてでございます。

10月10日「飯南キラリ！ドリームアップ推進協議会」が主催し開催された「飯南町子ども未来会議」には、教育関係者をはじめ

め、地域の皆様や飯南高校生など約 200 名のご参加をいただき、「飯南町で育てたい子ども像」の実現に向けて動き出している大学生や、住民団体の方々から取り組み発表をしていただきました。

参加者からは、「子どもたちについて考えるきっかけとなった」「飯南町の良いところは、人とのつながりだと気づいた」などの感想がありました。

これらの団体の取り組みがひとつのきっかけとなって、まちぐるみで子どもを育てる機運がさらに高まり、学校・家庭・地域が連携した教育環境づくりが推進されるよう、大いに期待をしているところでございます。

なお、年明けの1月2日に、BSS山陰放送において飯南高校、頓原・赤来両中学校の学校紹介、教育の魅力を発信する 30 分のテレビ番組が放送されます。

この番組作成にあたっては、多くの町内外の企業様からのご協賛をいただいております、厚くお礼申し上げます。

## 【芸術・文化の振興】

続いて、芸術・文化の振興についてでございます。



10月14日に、来島小学校体育館を会場に、飯南町文化協会主催による「トヨタコミュニティコンサート in いいなん」が開催されました。

当日は町内外から約400人もの来場者があり、普段聴く機会の少ない「山陰フィルハーモニー管弦楽団」の生演奏を存分に楽しんでいただく機会となりました。

後半には、中学校・高校吹奏楽部との合同演奏もあり、生徒たちにとっても記憶に残る大変良い経験になったものと感じております。

今後も町内で活躍されている各種団体との連携により、地域の文化活動の活性化を進め、芸術・文化に触れる機会の創出にも努めてまいります。

## 【出身者の活躍】

次に、出身者の活躍についてでございます。

10月に茨城県で開催された「いきいき茨城ゆめ国体2019」のボート競技「少年男子シングルスカル」において、志津見出身で、松江工業高等専門学校3年生のおの だくう小野田空羽さんが、優勝という快挙を成し遂げました。

全国大会である国体での優勝は、松江高専、本町にとっても初めてのことで、見事立派な成績収め、私といたしましても誇りに思うところでございます。

### 3. 産業

次に産業についてでございます。

#### 【農業振興】

はじめに、農業の振興についてでございます。

10月31日、農林水産省から、令和元年産米の作況指数が、全国で99の「平年並み」、島根県も99の「平年並み」と公表されました。

9月30日の発表では、全国・島根県とも101の「平年並み」と公表されていましたが、8月中・下旬の日照不足や9月中旬以降の高温で登熟とうじゅくが不十分であったことと、トビイロウンカの影響で下方修正されたところでございます。

飯南町における10月末時点のJAへの米出荷状況も、予約

数量の82.3%と不足している状況です。

こうした中で、「島根県農業再生協議会」において、全国の米の需給見通しや島根県産米の販売量、生産者の作付意向数量などを踏まえて、昨年までの「生産数量の目安」と同等の生産計画が市町村において策定できるよう、情報提供の準備が進められております。

本町といたしましても、飯南米は市場での評価も高いことから、「島根県農業再生協議会」から提供される情報を目安として、令和2年産米の作付意向調査を行い、来年度に向けた水稲作付面積を調整してまいります。

## 【畜産振興】

次に、畜産振興についてでございます。

10月に開催された「令和元年度島根県種畜共進会」で、上  
来島の澤田秀樹さんの愛牛「さわほし号」「ほしゆり2号」の親子  
が母系牛群区ほけいぎゅうぐんの優秀賞首席に選ばれ、また出品牛全体でもグ  
ランドチャンピオン次席に輝きました。

これは、昨年の中子牛共進会でのグランドチャンピオン獲得につづく好成績であり、日頃から改良を進められ、丹精こめて愛

牛の飼養管理に努められた結果が高く評価されたものであり、私としましても大変うれしく、誇らしく感じております。

改めまして、澤田さんのご功績に敬意を表し、平素から本町の和牛振興にご尽力いただいております飯南町和牛改良組合、JA島根雲南地区本部など関係の皆様には感謝申し上げます。

### 【観光振興】

次に、観光の振興についてでございます。

同じく、10月に「飯南町大しめなわ創作館」の5周年記念イベントを開催いたしました。

「大しめなわ創作館」は、しめ縄文化を伝承する施設として開館以来、県内外、海外から8万人以上の来館者を迎え、本町屈指の観光施設に成長いたしました。

また、この度「飯南町のしめ縄」について、県において「島根県ふるさと伝統工芸品」に指定されることとなりました。

これまでの地域資源を活用した取り組みが評価され、メディアへの露出も多く、本町の名声も高めてまいりました。

今後、後継者の育成に努めながら、「日本一の大しめ縄の里 飯南町」のシンボル施設として発展することを願っております。

#### 4. 保健・福祉

次に保健・福祉についてでございます。

##### 【地域福祉の充実】

はじめに、民生児童委員の改選についてでございます。

任期満了に伴う改選により、先日2日、29名の民生児童委員、3名の主任児童委員をそれぞれ委嘱させていただきました。

このたび退任されました委員の皆様のこれまでのご労苦に対し、心から敬意を表するとともに、住民の皆さんの心の支えとなっていたことに厚くお礼申し上げます。

継続して携わっていただく方、新たに就任いただいた方におかれましては、様々ご苦勞をお掛けいたしますが、子どもから高齢者まで、福祉の向上にお力をいただきますようお願い申し上げます。

##### 【福祉サービスの充実】

次に、福祉サービスの充実についてでございます。

町内の介護福祉施設に従事する職員不足が深刻さを増してきております。

町としましては、持続可能な介護サービスの提供を実施すべく、飯南町福祉施設協議会と協働して人材確保に取り組んでおり、その手法のひとつとして、医療福祉専門学校と町内福祉施設と町が連携し、外国人の介護留学および就労に関する支援を検討しており、ふるさと学習で人材育成に取り組む一方、外国人雇用の面からも人材の定着を進めてまいります。

#### 【地域包括ケア推進】

次に、地域包括ケア推進についてでございます。

10月5日、島根県立大学出雲キャンパスとの共催で、「タウンミーティング IN いいなん」を開催し、高校生を含む約60人の皆さんと県立大学に在籍している本町出身の学生や、かかわりのある学生が、「未来予想図 飯南町 この地域の暮らしを継続するために次世代へのバトンリレー」と題して意見交換し、特に大学生や高校生が率先して発言している姿にうれしく、また頼もしく思ったところでございます。

また、先月末、姉妹病院である「京丹後市立久美浜病院」の赤木院長をはじめ、病院職員や介護施設職員をお招きし、「飯南町地域ケアフォーラム」を開催いたしました。

今年、平成 22 年度から通算し、10 回目となる節目の年になることから、角田院長が地域包括医療・ケアの過去現在そして未来を語り、久美浜病院赤木院長に総括をしていただきました。

地域包括ケア推進局の前身である生きがい村推進センターでご尽力いただいた安田前院長、萬代前施設長ほか、飯南病院をご支援いただいた方々に深く感謝すると共に、将来にわたり安全安心な地域包括医療・ケアの更なる充実に向け取り組んでまいります。

#### 【病院事業】

次に、病院事業についてでございます。

今年度上半期の運営状況は、昨年同期と比較すると、外来部門は患者数が減少しておりますが、入院部門は増加しており、病床利用率は、71 パーセントとなっております。

経営の目標である病床利用率 70 パーセントと経常収支の黒字化を達成できるよう、引き続き下半期の運営状況を注視してまいります。

診療体制につきましては、11 月に吉村美咲医師が産休から復帰され、育児をされながらの勤務となりますが、周囲のサポート体

制を万全にし、働きやすい環境の中で診療を行っていただきたいと考えております。

なお、吉村医師の復帰により、産休代替として勤務いただきおりました、木田川幸紀きたがわこうき医師におかれましては、10月末をもって、島根県立中央病院に帰任され、先生からは、「飯南病院は総合的な診療を経験する場として大変良い環境にある。可能であれば引き続き勤務したかった。」とおっしゃっていただき、大変うれしく思ったところでございます。

木田川先生きたがわの今後のご活躍をお祈りするとともに、機会があれば、また本町で勤務いただければと希望しているところでございます。

## 5. 生活環境

次に生活環境についてでございます。

### 【定住対策】

はじめに、定住対策についてでございます。



定住促進賃貸住宅につきましては、現在、上赤名瀬戸地区に1戸、頓原泉川団地内に1戸、計2戸の住宅整備を進めており、これまでの整備戸数は25戸、入居者数は99人(うち子ども50人)となりました。この数字は人口の2パーセント以上に相当し、定住施策の中でも特に大きな役割を果たしているところでございます。

また、他の定住住宅や空き家バンクの入居者も含めると260人以上となり、人口の約5.5%に相当しているところでございます。

そして、年間を通じて取り組んでいる「田舎暮らし体験プログラム」には、本年度すでに27組63名の方々が本町を訪れ、豊かな自然と笑顔あふれる本町の魅力を満喫し、移住を検討していただいているところでございます。

#### 【地域公共交通対策】

次に地域公共交通対策についてでございます。

冒頭でも述べましたが、和田医院が今月末をもって閉院されることから、特に赤名地区の住民の皆さんが、飯南病院や来島診療所で受診される際の利便性を高めるために、上赤名・下赤名ルート DEMANDバスを1便(1往復)増便するよう考えているところでございます。

増便の開始については、来年 1 月 6 日から実施できるよう進めているところであり、補正予算に所要額を計上しておりますので、よろしく願い申し上げます。

### 【生活道の整備と安全確保】

次に、生活道の整備と安全確保についてでございます。

昨年冬は稀にみる暖冬でございましたが、寒波による水道管の凍結や漏水による断水が心配となる時期となりました。

こうしたことを防ぐため、本格的な寒波が到来する前に「自治区回覧文書」や「広報い〜なん」を通じて、水道凍結防止の注意喚起や自治区長を通じて冬期間空き家とされている方の情報提供などお願いしてまいります。

また、2カ月に一度の水道メーター検針につきましても冬期間は必要に応じて回数を増やすなど、漏水区域の早期発見のための対策も講じてまいりますので、ご理解ご協力をよろしく願い申し上げます。

今年も積雪の時期となりますが、国や県など関係機関と連携を図りながら生活道の除雪体制を整え、冬期間の生活道の安全確保に全力を挙げてまいります。

なお、8月豪雨により発生した災害の復旧事業につきましては、公共土木施設災害3箇所の災害査定を終了し、早期復旧を目指し事業進捗に努めているところでございます。

### 【令和2年度当初予算編成】

次に、令和2年度の当初予算編成についてでございます。

本町は飯南町総合振興計画を基本とし「小さな田舎(まち)からの『生命地域』宣言」を基本理念として、10年後にも笑顔あふれるまちを目指しておりますが、来年度は、第2次飯南町総合振興計画(後期計画)、そして第2次総合戦略の初年度となり、これらに沿った取り組みが必要であります。

一方、地方交付税の合併加算による上乘せがなくなり、更なる一般財源の減額や、大規模事業による公債費の増大、広域的大災害の発生による特別交付税の減少、令和2年度国勢調査による交付税の減少も今後見込まれるなど、財政状況が厳しさを増す中で、中長期的な視点を持ち、より一層、健全な行財政運営が求められるところでございます。

徹底した既存事業の見直しや財源の確保に努めつつ、「3つの守りと3つの攻め」として守るところは守り、攻めるところは攻める

というメリハリのある視点を持って、職員一丸となって予算編成に臨み、真に住民福祉の向上につながる予算となるよう努めてまいります。

### 【一般会計等補正予算案の概要】

次に、今回提案いたしました一般会計等補正予算案の概要についてでございます。

一般会計につきまして主なものは、引き続き好調でありますふるさと納税について、基金への積立金に6千万円、農業経営転換に伴う機構集積協力金交付事業に9百万余、外国人雇用に伴う社宅整備助成事業に3百万余、そして冒頭でも述べました和田医院閉院対策として公共交通機関利用促進事業に百万余など、補正総額で8千3百万円余を増額いたしております。

この結果、補正後の一般会計予算規模につきましては、前年同期9パーセント増の93億2千5百万円余としたところでございます。

各事業会計につきましては、簡易水道及び下水道については、冬期の施設破損に備えた修繕などの増額、病院事業会計につきましては、職員の退職等による人件費の減額をするものでございます。

本定例会に提案いたしました案件は、専決処分の承認を求め承認案件 1 件、条例関係 4 件、議決案件 1 件、令和元年度一般会計補正予算(第 4 号)など予算案件 6 件でございます。

以上諸般の報告並びに提案理由の要旨につきまして申し上げましたが、詳細につきましては、後ほど担当課長より説明いたさせますので、何とぞ慎重にご審議の上、適切なお議決を賜りますようお願い申し上げます。